

9月は厳しい残暑が続く毎日でしたが、もう10月。朝晩は過ごしやすくなりました。10月27日～11月9日は、全国読書週間です。まだ戦火の傷跡があちこちに残っていた1947(昭和22)年、「読書の力によって平和な国家を作ろう」という決意のもと行われた第1回読書週間が始まり、今年が77回目になります。

私のペースで しおりは進む

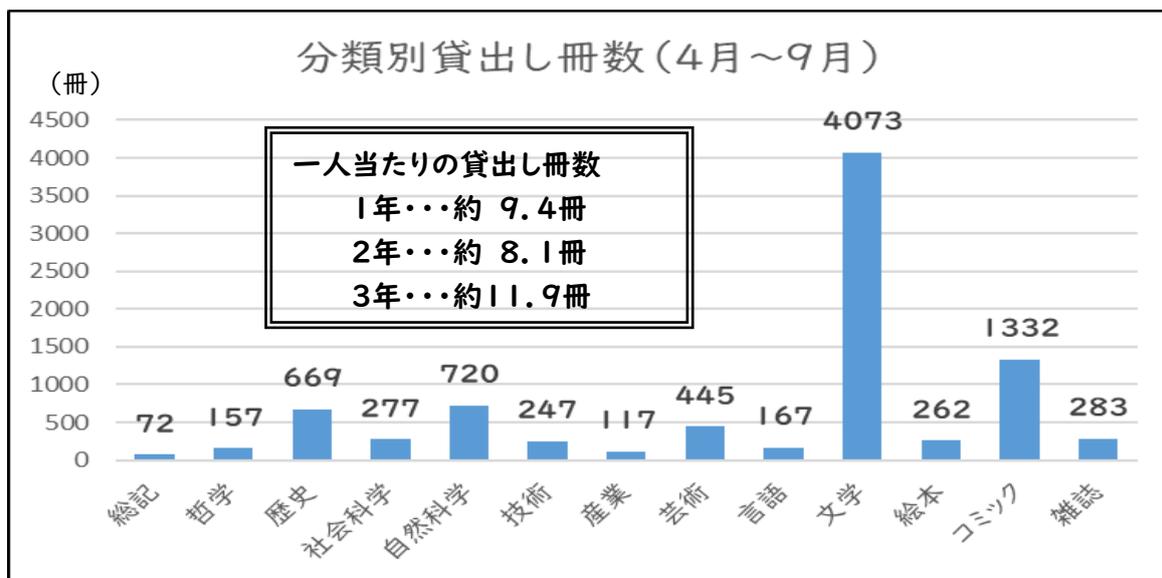
2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



今、手元に読みかけの本はありますか？ 随分とページ数のある本を、延長しながら読み進めている人も何人かいます。忙しい中ですが、この秋あなたのペースで1冊、読み進めてみませんか。



キミは何冊読んだ？ 上半期の読書を振り返ろう！



この期間の貸出し冊数は、昨年度の約9,200冊から少し減りました。今年度から昼休みが短くなり、ゆっくり本を選ぶ時間が取りにくくなっているかもしれません。そんな中、「次の休み時間でいいから、こんな本探しておいて!」と、声が掛くことも少なくありません。予約・声掛け・相談等々、色々な形でみなさんと本との出会いをアシストしていきます。

進路資料コーナーを活用しよう！



図書館に入ってすぐの正面に、県内の公立・私立高校の最新のパンフレットや、受験対策の資料を集めている「進路資料コーナー」があります。パンフレットは「公立高校」「私立高校」「通信制高校など」の三つに分けています。面接の対策本や、公立高校入試の過去問題集もあります。3年生はもちろん、1・2年生もよくこのコーナーで高校の資料を見ている。希望者には貸出しもしています。

進路資料コーナーの隣は、職業に関する本のコーナーです。

中学校からその先の将来を考えると、どんな職業があるのか本でも調べてみませんか。

文化発表会に参加しました

7月の専門委員会で有志の参加を決めてから、夏休み中2回の打合せ会で構想を練り、脚本・小道具などを話し合いながら作りあげました。2学期に入ってから放課後の練習・撮影・編集を生徒自身の手で進めました。動画・写真・ナレーションやセリフなどのたくさんのデータを Chromebook® を使って編集しましたが、慣れない操作に悪戦苦闘。撮影期間が限られていたので、撮影できなかった部分を編集でどう補うかにも知恵を絞りました。楽しんでいただけでしょうか？ 要は、本の良さを伝えたい劇でした。劇中で紹介した本を、改めて紙上でもそのセリフと共に紹介します。

劇の様子 その1

書影

「映画になった本もあるよ。時空を越えて偶然出会ったふたりの運命のお話だよ！」
『君の名は』新海誠作 講談社
ハチワレ役のセリフより

書影

「ヤハ、プルーウラウラ！」
(訳)「僕たちだって、本になっているんだぞ。一日頑張った後のごほうびのラーメン、おいしかったんだぞ。」
『おつかれラーメン』ナガノさく・え 講談社
うさぎ役のセリフより

書影

「食品ロスや廃棄されるごみの量が年々増えている今、残ったものや余ったものでも工夫すれば新しいものに変えることができるんだ。そういった物の大切さを、この本は伝えてくれるんだ！」
『もったいないばあさん』真珠まりこ作・絵 講談社
ちいかわ役のセリフより

劇の様子 その2